

信州大学医学部神経難病学講座の研究に
ご参加いただきご家族の方へ
当講座における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年3月27日

「若年性認知症としての「軸索スフェロイドを伴う顕性遺伝性白質脳症」:ミクログリアサブセットの発現変化と病巣進展、ならびに臨床症状のnatural historyと多様性」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、研究機関の長等の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6464
研究課題名	若年性認知症としての「軸索スフェロイドを伴う顕性遺伝性白質脳症」:ミクログリアサブセットの発現変化と病巣進展、ならびに臨床症状のnatural historyと多様性
所属(診療科等)	神経難病学講座
研究責任者(職名)	小柳清光(招待教授)
研究実施期間	倫理委員会承認及び研究機関の長等による許可日~2026年3月31日
研究の意義、目的	若年性認知症をおこす遺伝性白質脳症の本体を明らかにすることを目的とした研究であり、疾患の克服に貢献すると考えられます。
対象となる方	2012年11月1日から2025年3月31日の期間に下記共同研究機関で遺伝性白質脳症について医療を受けられた方
利用する診療記録/検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、脳画像などの臨床データおよび病理検体
他機関への試料・情報の提供方法	前研究「軸索ステロイドを伴う白質脳症の発症機構とミクログリアならびに画像所見と脳病変ステージ」(承認番号:4415)にてご提供頂いている試料・情報を使用するため、あらたな提供はございません。
研究方法	剖検脳や臨床データを解析することにより疾患の発症機構を解明する
共同研究機関名(研究責任者氏名)	千葉大学(平野成樹)、安曇野赤十字病院(木下通亨)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:小柳 清光
問い合わせ先	氏名(所属・職名):小柳 清光(神経難病学講座・招待教授) 電話:090-1432-8813

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。